

# みんゆう 随想

日本の木は外材に負け、林道は荒廃し、新車のシャトルバスは「2年でボルトが飛んだり、ドアが壊れ、溶接が剥がれて床が抜けたり、時にはスプリングが折れることがある」と、運転手が何の抵抗もなく話すので、余所事のように聞いていたが、内心は穏やかではなかった。

新静岡ICから10時間かかった静岡市葵区の奥地は、鄙びた温泉と山菜料理程度の持て成しと思ひ込んでいたが、想像は見事に外れ秘境の別天地。水洗トイレに檜風呂、吹き抜けの

## 渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング取締役会長



食堂ではシェフのコメント 4時間登り漸くマンノール よじ登り13時に悪沢岳を征付きの洋風料理と自家製の沢頭に到着。縦走に備えた服。Tさんの作りたてのサ果実酒とデザートの子ビ 重たいザックを横に、ゆっス。多種メニューの中から たりと朝食休憩を取った。を食べた。

生大と4合ポトルの焼酎を 羊蹄山で下腹が痛み苦戦 稜線歩きが続き、中岳、2人で楽しみ、ベッド部屋 したので、念のため診察を 前岳分岐から急な降りが始を貸し切って爆睡した。 受け、前立腺肥大の薬を服 まったころ、岩の上で警戒 抜け駆けするようにザツ 用しながらの登山となった 心のないライチョウ親子を クを抱え、音を立えずに階 が、また症状がでてきた。 発見した。和まされ疲れを 忘れて保護柵のあるお花畑 の中を通り抜け、高低差6 00呎を下り予定より1時 間早い15時20分、荒川小屋 に到着。初日の行程が無事 に終わった。

## 山に魅せられて(18)

段を降りて、靴紐をしっか 観望が開けガレ場の低い 結び入念に準備体操。朝 樹林帯で、樫島ロッヂか 4時、ヘッドライトを頼り らの合流点を通過するこ に悪沢岳を目指した。 ろ、初めて登山者に出会っ

二軒小屋ロッヂを出て間 南アルプスの奥地に入り、 りをしながら、隣のオバさ もなく吊り橋を渡ると、山 清涼で新鮮な山歩きを満喫 んに「窓から富士山が見え 頂までの高低差1750呎 しながら10時、千枚岳に到 るよ」と話し掛けると、暗 の急登が始まった。昨夜の 着した。急登の岩場を下っ い表情が一瞬満面の笑顔に アルコールが災いし苦しい 雲上のお花畑を通過し丸 変わった。天候の悪かった スタートとなった。無言で 山、鎖無しの大きな岩場を 南コースからだった。